

新環境クリーンセンター環境学習施設 運営活動ワーキンググループ		第1回	
打合せ議事録			
打合せ日時	平成30年10月31日(水) 19:00~20:50	発議者	川崎重工業・クリーン工房
打合せ場所	富士市民活動センター	記録者	クリーン工房 二井
出席者	富士市市民(市民)	川崎重工業(KHI) クリーン工房(CKB)	
	敬称略・順不同	敬称略	
	(市民) 田中、時田、松本、原口、篠原、石原、 長谷川、稲場、 (準備事務局) 熊谷、太田、今屋敷、鳥谷 (12名)	(川崎重工) 森野、谷口 (クリーン工房) 江頭、張替、二井 (5名)	
議 題	1. あいさつ 2. 今後の運営活動ワーキンググループ(運営活動WG)の流れについて 3. 諸元表について 4. スケジュール ①平成30年度のスケジュール(案)について ②平成31年度以降のスケジュール(案)について 5. 質疑応答 6. その他(まとめ)		
提出資料名	提出資料名(KHI・CKB → 市民)		
	・第1回新環境クリーンセンター環境学習施設 運営活動WG 次第 ・第1回新環境クリーンセンター環境学習施設 運営活動WG ガイダンス ・環境学習施設(循環啓発棟 修理再生エリア) A4平面図(用途記載あり)		
	受領資料名(市民 → KHI・CKB)		

項目 No.	発言者	打 合 せ 内 容	確認欄	
			市民	KH I CKB
1	KH I	<p><b>あいさつ</b>            新環境クリーンセンター環境学習施設は平成 32 年 9 月の完成予定で工事を行っている。            運営に関しては、市民に開かれた施設を常備するため、今後の皆さまとの対話の中ですすめていく。</p>		
	CKB	<p>第一回新環境クリーンセンター環境学習施設 運営活動ワーキンググループ（以下、「運営活動WG」）にて、市民の皆さまと協働ですすめていきたい。</p>		
2	CKB	<p><b>今後の運営活動WGの流れについて</b>            運営活動WGは、市主催の坂本氏が司会を行っている会議とは別で、事業者が主催のため、分科会ではなく、ワーキンググループという呼び方にした。</p> <p>市から出た要求水準書・事業者の提案書内容を開示していき、オープンしたとき活動する方が、実際に使用する備品類や個数など、見えな部分部分を明確にし、実際に使用される物を準備していきたい。</p> <p>今後は、テーマごとに分かれ、有識者、活動団体、地元市民と連絡を密に取り、情報を発信して、コアメンバーを集めその中で詳細に内容を決めていくワーキンググループを予定している。</p> <p>～ 運営活動WGの流れについて ～            （資料配布）            事業者の方から皆さまに会議の資料を 1 週間前位には配信            事前に資料をご確認いただき、意見を持ち合わせ、運営活動WGで内容をつめていく。            （資料の送付方法）            メールリングリストの登録者を中心に市民団体に周知していく予定</p> <p>大きく、下記の 2 つのテーマに分けて協議を行っていく  <b>【1. 施設の運営について】</b>  <b>【2. 施設での活動について】</b></p> <p><u>1. 施設の運営について</u>            施設の運用内容について検討。            活動団体等の利用方法を踏まえた運用案や運用ルールを検討。  <b>【詳細】</b>            施設を円滑に活用していただけるように、富士市民に広く告知できるような事も決めていきたい。現在、事業者が提案している内容に対し、どのような物があり、どのように活用するのか等、運用する目線で意見交換をしたい。            例) 部屋の利用方法、告知方法、デジタルサイネージの活用等</p>		

項目 No.	発言者	打 合 せ 内 容	確認欄	
			市民	KH I CKB
3		<p><u>2. 施設での活動について</u></p> <p>施設で活動を行う市民や活動団体目線から、施設の各部屋の備品内容の調整や、各部屋の活用方法を確認したい。 例) 給排水がある諸室の確認、電源を使う際の確認等</p> <p>平成 31 年 3 月くらいまでにこれらの意見交換を実施し、諸元表をベースに、まとめていきたい。</p> <p><b>諸元表について</b></p> <p>・ 諸元表とは 各諸室の要求水準書及び提案事項による、プログラム内容や備品内容をまとめているもの</p> <p>次回の運営WGは、諸元表をベースに話を進めていくので、次回開催日の 1 週間くらい前までには、皆さんに開示できるように作成している。</p> <p>諸元表を用いて、各諸室の名称や、プログラム内容、現段階で検討している備品に対しどう活用していくのかを運営活動WGで考えていく。 変更や代替については、要求水準書及び提案事項に基づき、限られた予算内で調整可能</p>		
4		<p><b>スケジュール</b></p> <p>①平成 30 年度のスケジュール (案) について 11 月は、諸元表の提示、説明を行い、中身の意見交換をしたい。 12 月以降は、課題に対して、備品の中身を 3 ヶ月間協議し、来年 3 月には、まとめる形で考える。</p> <p>②平成 31 年度以降のスケジュール (案) について 平成 31 年度に環境啓発・余熱利用施設の指定管理者公募があり、提案書を作成する。プログラムの開催頻度や環境イベント等を予算内で具体的に盛り込んでいく。 現在、坂本氏で動いているインタープリターで施設の見学者案内等も指定管理の提案書に盛り込む予定。正式に指定管理者として決まり次第、実際に運営準備を行っていく。</p>		

項目 No.	発言者	打 合 せ 内 容	確認欄	
			市民	KH I CKB
5		<b>質疑応答</b>		
	準備事務局 CKB	諸元表のホームページでの公開は考えているのか。 →考えていない。決まっていないこと（議論中）の内容が公になると内容が一人歩きする、実施内容が固まれば公開は可能になる。		
	準備事務局 CKB	これからの運営活動WGの日程調整は川崎重工・クリーン工房が中心になるのか。 →これまでの経緯も踏まえ、メーリングリストに記載されている方を中心に情報発信を行いたい。 運営活動WGで決まった内容を市と坂本氏がおこなっている環境学習施設 意見交換会にて、一般市民の方に公開を予定している。		
	市民 CKB	運営と活動の両方をみんなで集まって行うか。それでも、別々に行うのか。 →分けて打合せを行う予定である。		
	市民 CKB	協議は、各諸室ごとに行うのか。 →そのとおりです。		
	市民 CKB	各諸室ごとに協議を行うのであれば、協議内容を事前に教えて欲しい。そうすれば、会議に参加するかしないかの選択ができる。 →次回の打ち合わせには施設全体の諸元表を皆さまに開示する。まずは、様子を見て進めていきたい。		
	市民	各諸室のテーマごとに、目的に応じて開催した方が、人も集まりやすい。		了承
	市民 CKB	会議の主催はクリーン工房なのか。 →主催は川崎重工が主催、協力にクリーン工房がはいる。		
	市民 準備事務局	地元のネットワークは地元で人を集めてほしいとのことで、準備事務局を設置し、地元のNPO団体等に声掛けをするという話しがあったが、現在はどのように考えているのか。 →そのとおりです。		
	準備事務局 CKB	環境学習センターの全体のスケジュールのまとめと調整はどのように進めていくのか。 →運営活動WGで、活動内容に特化し具体的にまとめ、次に運営において全体を調整する。		
	準備事務局 CKB	活動内容が多く、運営で調整が出来なかったときはどうするのか。 →部屋が限られているため、公共施設での公平平等さを保つとなると、ルールをつくらなければいけない。		
	準備事務局 CKB	利用する側の視点も大切にしないといけないので、公平にジャッジを取った方が良いのではないかと。 →現在、坂本氏と打ち合わせをしている、インタープリター（市民やボランティア）で運用し、施設利用者が参加し、参加側から運営側に		

項目 No.	発言者	打 合 せ 内 容	確認欄	
			市民	KH I CKB
		なり、成長していく施設にするために、そのサイクルをどのように作り上げていくかが大切だと考えている。		
	市民 CKB	形が出来てから参加してくる団体はどの様にしてまとめていくのか。 →施設では、活動団体の登録制を予定している。		
	市民 CKB	運営の主体はどこか。 →市民（インタープリターやボランティア団体）が主体となって施設を運営していくイメージで考えている。		
	市民 CKB	富士市の各課との連携も必要になってくると思うが、どのように考えているのか。 →事業者のノウハウを活用し、市の各課との連携も図っていきたい。 例) クールチョイス事業等		
	市民	市民からも市に声掛けを行う姿勢を見せなければいけない。		
	準備事務局 CKB	関わってくれる人を増やしたいため、準備事務局側で説明を行い、掘り起こしを行っても良いのか。 →プログラム内容を決めるのが優先となる。活動する人を増やすのは可能。		
	準備事務局 CKB	備品の増加ではなく諸室の利用方法の要望があった場合は対応可能か？ →内容によっては対応可能		
	市民	まちづくりセンターは月3回無料貸し出しを行っている（登録が必要） NPO以外の活動団体へのお声掛けはした方が良いのではないか。		
	準備事務局 CKB	参加できない団体の質問や意見の聴衆はどの様にして行うのか。 →個々に教えて頂ければ動く。		
	準備事務局 CKB	団体が全て一堂に介して集まる場合は、市民活動センターでは狭い。 →狭い場合はラホールでの開催も検討している。		
	市民 CKB	団体が全て一堂に介して行うのは反対である。 複数の部屋に関連する団体が出てくるため、スレッドを作成し24時間意見を言える環境をクリーン工房か川崎重工で管理をして貰えば、意見が欲しい人、見たい人等公平性が出るため、ルールを決めれば広く意見を徴収することができるのではないか。 →案として、大きな掲示板をつくり、各諸室に附箋で意見を貼っていき、仕分け整理をして、皆さんで意見をまとめていく方法もある。		
	市民 KHI	川崎重工が作成したホームページの活用はできないのか。 →現在は、建設工事状況の進捗や状況を掲載している。同ホームページに掲載できるかは検討する。		

項目 No.	発言者	打 合 せ 内 容	確認欄	
			市民	K H I C K B
	市民 KHI	アドレスの共有をお願いしたい。 →準備事務局と共有する。		
	準備事務局 KHI	工事中の現場を見学したいとの声があるか、可能なのか。 →市に相談する。		
6		<b>その他（まとめ）</b> 諸元表は11月9日（金）までに提出すべく作成を進める 諸元表はゾーニングを踏まえて進めていく 対話は興味を持っている方を中心に行っていく プログラムはオープンした時に実現させたい		
		<b>次回予定</b> 第2回 新環境クリーンセンター環境学習施設 運営活動WG 平成30年11月16日（金）19：00～ （場所：富士市民活動センター）  以上		